

RIKKEN
MINSHU
号外

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press

2019年1月1日
立憲民主党
神奈川県第12区総支部
〒251-025
藤沢市鵜沼石上1-13-13-1F
Tel: 0466-52-2680
Fax: 0466-52-2681
E-mail: inochi@shonanfujisawa.com

ともに生きる神奈川
人が活きる神奈川へ

教育

未来への
希望

共生

だれひとり
取り残さない

平和

平和なくして
人権なし

わき

神奈川県政 政策委員

脇 れい子



市議会から 次のステージへ

神奈川県人権センターの事務局職員として、マイノリティの人権擁護・確立に向けた活動をおこなってきました。そこでの当事者の方との仕事を越えた友情は生涯の宝となりました。女性会議では平和とジェンダー平等社会の実現をめざし活動、私たちの願いの実現には、政策決定の場に一人でも多くの女性が参画しなければならないと痛感していました。2011年には背中を押され、自ら立候補し当選、2期8年藤沢市議会議員を務めさせていただきました。市議会では、教育・共生・平和を中心に市の政策を質し、そのうちいくつかは実現することができました。

市議会での経験をもとに、次は神奈川の政治に挑戦します。皆さんの意見とともに「声なき声」にも耳を澄まし、「ともに生きる神奈川」のために一所懸命働きます。

プロフィール

立憲民主党公認

神奈川県議会（藤沢市）選出選挙 予定候補者

1957年5月13日生 辻堂在住

- ・子供の園幼稚園、市立高砂小、市立湘洋中、県立平塚江南高校、日本女子大学文学部史学科卒
- ・一般社団法人神奈川県人権センター事務局職員を経て2011年に藤沢市議選初出馬、初当選。現在2期
- ・藤沢市議会 会派『民主クラブ』所属
厚生環境常任委員会委員長、
議会運営委員会副委員長、
決算特別委員会委員長、
総務常任委員会委員長 など歴任
- ・主な役職

- ・女性会議神奈川県本部 議長、
神奈川平和運動センター 副代表、
部落解放神奈川県共闘会議 副議長、
NPO法人COCO湘南 監事など
- ・趣味はピアノ、旅行（温泉を巡る）、食べること
- ・家族 夫・母と同居 一女一男は独立 孫3人
- ・事務所：〒251-0047 藤沢市辻堂5-20-11
・Tel/Fax：0466-35-0762
・ホームページ <http://wakireiko.jp/>
・E-mail：reich0513@yahoo.co.jp



働きい子のめざす神奈川



子育て・教育

- ・すべての子どもが健全に育つことのできる環境をつくります。
- ・子どもの貧困対策に取り組みます。
- ・教育活動や、児童・生徒のゆたかな学びを確保するために、教職員の増員等を推進します。

共生社会

- ・性暴力被害者に対する支援の充実を図り、ジェンダー平等社会の実現をめざします。
- ・障がい者に対する偏見や差別的思考を克服するために、障害者権利条約のめざす社会を実現します。
- ・性的指向や性自認によって差別されることがない社会をつくります。
- ・ヘイトスピーチを許さない社会の仕組みづくりを進めます。

くらし

- ・安心して子育てができ、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らすことができる体制をつくります。
- ・経済的に困窮している人や社会的に孤立している人に対する生活支援を拡充します。
- ・身近な地域で質の高い医療・介護を安心して受けられるために、急性期から回復期、慢性期までを含めた一・体的な医療提供体制を充実させます。
- ・長時間労働を規制し、ワーク・ライフ・バランスを推進します。
- ・安全・安心な農林水産物・食品の提供体制を確立します。

活力

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催や、その後を見据え、江の島島内のバリアフリー化をめざします。
- ・県内、市内の大学との連携により、イノベーション（技術革新）につながる環境を整備します。



平和

- ・在日米軍基地の整理・縮小・返還に向けた取組みを進めます。
- ・県内の米軍基地による深刻な騒音・事故被害などの問題に積極的に取り組み、安全で安心してくらせる環境の確保を図ります。
- ・米兵・軍属による凶悪犯罪発生を抑止することも含めて、日米地位協定の改定に取り組めます。

環境・災害対策

- ・湘南の緑と海岸を守り、温暖化対策に積極的に取り組みます。
- ・原発ゼロをめざし、環境にやさしいエネルギーの地産地消の推進により、地域経済の活性化、雇用の創出を図ります。
- ・地震、津波、豪雨など自然災害に対し、県内の広域連携による総合防災チームを作り、防災、減災の取り組みを強化し、県民の命を守ります。

行政改革

- ・県民の知る機会を保障し、不透明な県議会を、開かれた県議会にするために、議会改革に積極的に取り組みます。

多様な個性や価値観が認められ、
基本的人権が尊重される
「ともに生きる神奈川」を実現します。

